

# 12月17日のウクライナ情報

安齋育郎

## ●メディアに出るのを控えてきたメルケル前ドイツ首相のインタビュー(2022年12月9日)

- ・ミンスク合意は、ウクライナを軍事的に強化するための時間稼ぎでしかなかった。
- ・ロシアはその気になれば、2015年に容易に勝てた。
- ・この経緯を考えると、ロシアが再び西側諸国を信頼し、平和協定を結ぶことは無理だと思います。



**メルケル**：あるいは、ロシアとウクライナに関する私の政策を見てみましょう。その時の判断は、今でも理解できる形で行っているという結論に至ります。まさにそのような戦争を防ごうとしたのです。しかし、それが成功しなかったからといって、その試みが間違っていたとは言えません。

**ZEIT**：しかし、以前の状況でどのように行動したかをもっともらしく考えても結果から見て今日それが間違っていると考えることはできるのです。

**メルケル**：しかし、そのためには、当時の代替案が何であったかを明確にすることが前提になります。

2008年に議論されたウクライナとグルジアのNATO加盟の発端は間違っていると考えたからです。両国とも必要な前提条件を備えておらず、また、ロシアのグルジアやウクライナに対する行動に関しても、NATOやその援助ルールに関してもそのような決定がどのような結果をもたらすかを最後まで考え抜いたわけでもなかった。

そして、2014年のミンスク合意は、**ウクライナに時間を与えようとするもの**でした。

**停戦で時間を稼ぎ、後にロシアとウクライナの和平を実現するのが目的**だった。そして、この時間を利用して、現在に見られるように、**より強くなっていった**のです。2014/15年のウクライナは、今日のウクライナではない。2015年初頭のデバルツェボ（ドンバス地方の鉄道の町、ドネツク州）の戦いに見られるように、**あの時プーチンは簡単に制圧できたはず**です。

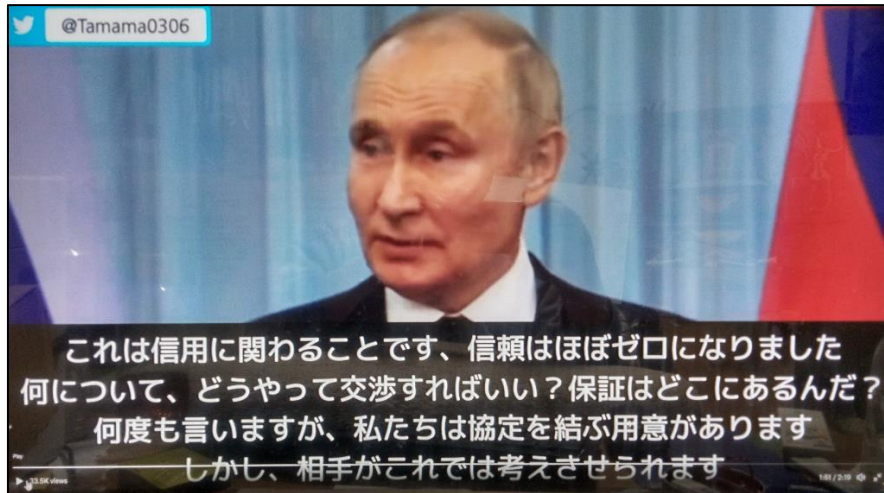
そして当時、NATO諸国がウクライナを助けるために今と同じようなことができたかどうか大いに疑問です。

これに対するプーチンの対応は？

「ここに国際的合意詐欺にあった大統領がいます。信用できない人たちと何をどうやって交渉するんでしょう？」

メルケル前首相とウクライナのポロシェンコ元大統領がミンスク合意はウクライナの軍備を整えさせるためのただの時間稼ぎだったことを認めたことについて、「失望し、信頼はゼロになった」。「我々には交渉する用意があるが、誰と何について交渉すればいい？その保証はどこにある？」

<https://twitter.com/i/status/1601257734858764291>



## ●メルケルの「自白」は法廷の根拠になりうる(ザハロワ外務省報道官、2022年12月9日)

ロシアのマリア・ザハロワ外務報道官は、メルケル前ドイツ首相の発言について、「国際社会の目を現実の問題から逸らし、時間稼ぎをし、キエフ政権を武器で煽り、問題を大規模紛争にエスカレートさせるためだったと公然と認めている人物の証言に他ならない」と語った。



## ●守る気がなかった 2014 年 9 月のミンスク合意(2022年12月8日)

ウクライナに軍事力を強化する時間を与えようとした。「その点では成功だった」、「正しかった」、

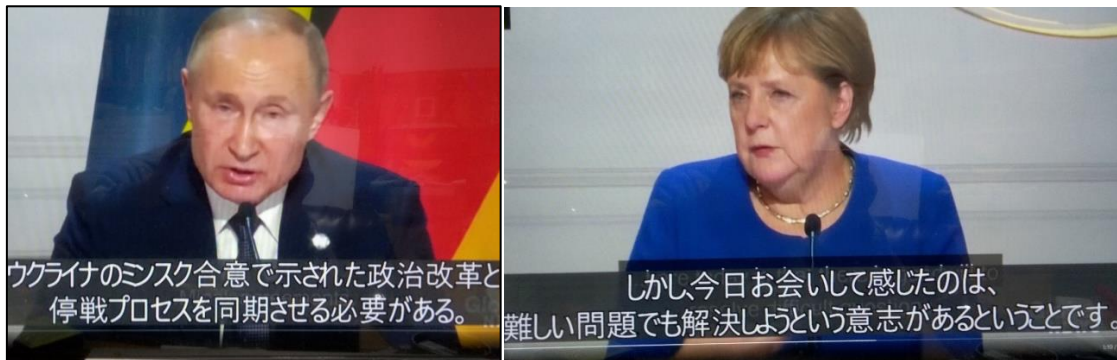
※投稿者コメント:ロシアを騙すことに成功した結果が現在の悲劇なのに。



メルケル首相はウクライナの和平交渉が  
策略だったことを認めた。

## ●ミンスク合意後のプーチンの会見(2014年9月5日)

<https://twitter.com/i/status/1602664545784561664>



ウクライナのミンスク合意で示された政治改革と  
停戦プロセスを同期させる必要がある。

しかし今日お会いして感じたのは、  
難しい問題でも解決しようという意志があるということです。

## ●ついでにポロシェンコもやる気がなかった話を再送(2022年12月11日)

※安齋注:前に紹介した映像です。ロシアの「なりすまし電話コンビ」ボバンとレクサスが、元アメリカ大使のマイケル・マクフォールに成りすましてポロシェンコ元大統領に電話。マンマと引っかけた元大統領は「ミンスク合意は時間稼ぎだった。少なくとも4年半は必要だった」ことを打ち明けてしまいました。みんな、よく引っかかるね。

<https://twitter.com/i/status/1593617760105684994>



少なくとも4年半は必要だったからです

Who was this for, I needed these Minsk accords so that  
the world was at least 4 or 5 years old to form the

## ●2019.12.9 ゼレンスキー大統領が就任後、初めてプーチンと会談したパリのサミット(2019年12月9日)

※投稿者コメント:最初からミンスク合意を履行する気がないメルケルとゼレンスキー。2020 年頃から侵攻の準備をし始めることになるプーチン。欧州の戦乱は避けたいマクロン。

<https://twitter.com/i/status/1602662922798657536>



## ●「私たちはプーチンのためです!」— ロシアに関するマクロンの投稿はネチズンを怒らせた(2022年 12 月 14日) ※ネチズン=ネット市民

ツイッターユーザーは、ミンスク合意に署名した後、マクロンが行動を起こさなかったと非難した。

モスクワ、12月14日—RIA ノボスチ。ロシアに対して団結する必要性についてのフランスのマクロン大統領の声明は、Twitter ユーザーの間で憤慨を引き起こしました。

ツイートの中で、フランスの指導者は国際的なパートナーにロシアがウクライナを攻撃するのをやめさせるよう統一戦線を提示するよう呼びかけました。ほとんどのコメントーターは、**ミンスク合意に従わなかったウクライナにフランスが責任がある**と指摘することで応えました。

「私たちはプーチンの側、フランスはロシアの側です。私たちは小間使いの少年にはなりたくありません。米国そしてゼレンスキーを甘やかす!」とユーザーは言った。

「紛争の責任が誰にあるのかを忘れましたか?あなたはミンスク合意を実施するために何もしていません。これは避けられたかもしれないのに、あなたは今起きていることに責任があります」と他のユーザーは言いました。

「ミンスク合意の締結以来、米国とヨーロッパすべてが計画されていました。すべてのことでロシア人を非難するのをやめなさい」と別のコメントーターは言った。

「エリゼ宮殿と外務省はこの紛争を避けるために何もしませんでした。それどころか、あなたはミンスク合意を尊重しませんでした」と別の人は言いました。

「フランスがどのようなコミットメントを引き受けたかをもう一度思い出させてください。私たちに起きていることに対して大きな責任があります!敵対行為の停止を交渉しようとすることは、ウクライナ人のためにあなたができる最低限のことです」と読者はアドバイスしました。

「あなたが自分の仕事をしていてミンスク合意を実行しているとだけ言う怠惰な術学者でなければ、これは何も起こらなかつただろう」とユーザーは付け加えました。

「ミンスク合意はどうですか?キエフ政権による虐殺?西側側の腐敗、嘘、残虐行為?ロシアはヨーロッパと全世界の盾です」とコメントーターは結論付けました。

2014年、ウクライナでのクーデターの後、ドネツクとルガンスク人民共和国独立を宣言し、キエフは彼らに対して軍事作戦を開始しました。紛争は2015年2月に署名されたミンスク合意によって解決されることになっていました。特に、彼らは憲法改正を規定し、その重要な要素は地方分権化とこれらドンバス地方に対する特別な地位の保証に関する法律の採択でした。しかし、キエフ当局はこの計画の実施を公然と妨害しました。

2022年の初めにドネツクとルハンスクの状況は非常に複雑になり、2月24日、ロシアは特別軍事作戦を開始しました。ウラジーミル・プーチンはそれを「キエフ政権によるいじめ、大量虐殺に8年間さらされてきた人々を保護する」という任務と呼び、究極の目標はドンバスの解放とロシアの安全を保証する条件の創造だと言いました。

9月末にDPR、LPR、ヘルソン、およびザポリージャ地域圏国民投票が行われ、その結果、これらの領土はロシアの一部となりました。プーチン大統領が指摘したように、この再統一はもっと早く起こったはずですが、2014年にモスクワはまだドンバスの住民の気分を完全には感じておらず、起こっている出来事を完全に理解することは不可能でした。



### ●ハッカーがウクライナの参謀本部長のアーカイブに侵入し、行方不明のウクライナ人兵士に関するデータを入手した。その数、35,382人(2022年12月14日)

ゼレンスキーらにとって最大の軍事機密は、ロシア軍の攻勢でもなく情報である。EUのウルスラ・フォン・デア・ライエンは死者は10万人と話した。ウクライナの大統領顧問ポドリャクは、死んだのは1万3千人の「光の戦士」だけだと叫んだ。ゼレンスキーは死者は9千人をやっと超えたと言った。もちろんそれは真実ではない。実数はウルスラが口にした数字よりも遥かに多いからだ。単純な戦争の法則によれば、15万人の死者ですらなく、もっとずっと多いのだ。これこそがゼレンスキーが恐れている軍事機密だ。

情報を隠すのは遺族に補償金を払いたくないゼレンスキーの意向だと言う人もいる。しかし金の問題だけではない。損失を明らかにすることで、ゼレンスキーと彼のチームは反抗者達から粉々に引き裂かれて沈むことになるからだ。



## ●ドイツでショルツ暗殺計画？(2022年12月14日)

The Times of London によると、ドイツのクーデター計画者たちはショルツの暗殺を計画していたらしい。New York Times が捜査関係者の話を引用して報じた。捜索過程で百以上の秘密保持契約書を発見したという。それは国会議員の襲撃と逮捕、およびショルツ暗殺に関するものであった。



## ●最前線にいるアメリカの傭兵、砲撃される毎日(2022年12月14日)

砲撃される毎日で、これに慣れるとは教えられてなかった模様。愚痴をこぼしてる米国人傭兵。  
<https://youtu.be/f4zpBzmAXsI>



## ●ゼレンスキー政権の幹部: Twitter のトレンドから”ウクライナ戦争”が消えて怒っている ※以下、黒字はツイッターのコメント、赤字は安斎のコメント。

1. ”ウクライナ戦争”が消えた

😞 確かにトレンドの一番下のが消えた

2. ”ロシア侵略”のツイートが減少

🗑️ Bot が排除されたのが原因だと思うよ

※安斎注: ツイッターの自動化された偽アカウントの「**ボット軍**」を発信源とする反ロシアのプロパガンダキャンペーンが、開戦時にインターネット上に溢れかえりました。前にお知らせしたように、オーストラリアのアデレード大学の研究チームは、2022年のロシア・ウクライナ侵攻の初期数週間における80%ものツイートが、自動化された偽の「ボット」アカウントから発信された秘密のプロパガンダキャンペーンの一部であることを明らかにしました。ウクライナ保安庁(SSU)が2022年3月28日に、ロシアとの戦争が始まって以来、フェイクニュースを拡散している10万

以上の偽 SNS アカウントを運用していたボットネットワークの拠点を 5 つ特定し、機器や SIM カードなどを押収したと発表しました。

### 3. ウクライナの電話番号でアカウントが作れない、Login できない

※安齋注:ウクライナメディア「United24 Media」は 2022 年 12 月 13 日(日本時間、以下同)、米ツイッターのイーロン・マスク CEO に宛てて「ウクライナの電話番号でツイッターアカウントの 2 要素認証を照合することはできなくなったようです。ウクライナは国のリストにありません」とツイートしました。投稿には、ツイッターへのログイン時とみられるスクリーンショットが添えられています。アルファベット順に各国が国番号とともに並んでいますが、プルダウンメニューの「U」で始まる国にウクライナ(Ukraine)は含まれていません。なお、日本の環境から確認するとウクライナの番号はリストにあります。マスク氏は12月14日夕現在、これらの指摘には反応していません。

## Zelensky aide accuses Musk of hiding 'war' from Twitter trends

Top Ukrainian officials have been sparring online with the company's CEO over his political views



© Getty Images/Mario Gokhale

Mikhail Podolyak, a senior adviser to Ukrainian President Vladimir Zelensky, has accused Twitter of hiding trends related to the ongoing conflict in the country. The official took to the social media platform on Tuesday, blasting the platform's CEO, billionaire Elon Musk, directly.

*"War in Ukraine" disappeared from Twitter trends. Radical curtailment of tweets mentioning ru-aggression coverage. Users aren't allowed to register or log into accounts with Ukrainian phone number,"* Podolyak wrote.

According to Twitter, its trends are "determined by an algorithm and, by default, are tailored for you based on who you follow, your interests, and your location." The algorithm "identifies topics that are popular now, rather than topics that have been popular for a while or on a daily basis."